

ネクスト リーダー

Next Leader

養成塾



令和6年度 宮城県ネクストリーダー養成塾 実施報告書

日程：令和6年8月2日(金)～4日(日)

主催：宮城県環境生活部共同参画社会推進課

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県商工会議所連合会、
宮城県PTA連合会、仙台市PTA協議会、青少年のための宮城県民会議、
河北新報社



ネクストリーダー養成塾について

「ネクストリーダー養成塾」は、県内の中学生を対象に、様々な分野で活躍されている方々の講話、同世代の仲間たちとのワークショップや意見発表を通して、考える力やリーダーシップを養い、これからの宮城を支える次代のリーダーの育成を目的に開催するものです。

今年度は、「何に」ではなく「どんな自分に」なりたいかを考えるきっかけとなる研修にすることを目標に実施しました。

実施概要

- ・ 日 程：令和6年8月2日(金)～4日(日)
- ・ 会 場：宮城県庁・東北自治総合研修センター
- ・ 参 加 者：宮城県内の中学1年生～3年生 33名

研修スタッフ

研修には、宮城県出身の若者を中心としたサポーターも参加し、中学生たちと一緒に様々なワークショップを行いました。

スタッフ	トータルコーディネーター 野澤 令照 利府町文化交流センター「リフノス」センター長		全体運営 加賀谷勝浩 名鉄観光サービス(株)	撮影等 伊藤 俊一 プランニング開
	後藤 穂実	佐々木 彩陽	須藤 万智	
サポーター	千葉 玲央菜	保原 葵希	山田 航平	

■開講式

開講式は宮城県庁で実施しました。最初はみなさん緊張している様子でしたが、副知事によるオープニングトークや記念撮影を通して、徐々に緊張がほぐれていったようでした。その後、会場となる東北自治総合研修センターへバスで移動しました。



■アイスブレイク【p4c】

最初のワークショップはアイスブレイクとして「p4c」を行いました。「p4c」は、「子どもの哲学」を意味し、「ボールを持った人だけが話せる」「まだ話していない人にボールを渡す」「話せないときはパスができる」「友だちを傷つけることは言わない」の4つのルールを守り、テーマに沿って考えや思いをもとに対話します。ボールを持った人が考えや思いを話し、他の人たちは否定をせず、皆の話をじっくり聴くことで、自分の思いに気付いたり、仲間と打ち解けるきっかけになったりします。今回はその中で使う「ボールづくり」から行うことで、仲間意識も芽生え、さらに深い対話につながる内容となりました。

【参照】P4：p4c「philosophy for children」について



■宮城県出身の講師たちによる講話

宮城県出身の3名の講師からお話をいただきました。講師の方々の生き立ちや成功体験、大切にしていることなどを聞き、参加者それぞれが学びを得ているようでした。

【参照】P3：宮城県出身の講師たちによる講話



■マインドマップ・オープンウィンドウ作成

講話を経て、自分の夢や目標について考えるワークショップを行いました。自分の考えを掘り下げる「マインドマップ」、目標達成に必要な要素を見える化する「オープンウィンドウ」を作成しました。



■グループ内発表・全体発表

「オープンウィンドウ」をもとに、それぞれが自分の夢や目標についてまとめ、グループ内で発表しました。その後、代表者を決め、プレゼン形式や寸劇など、各グループ工夫を凝らした方法で発表しました。



■閉講式

3日間の記録ムービーを上映した後、閉講式を実施しました。代表者2名に修了証書が授与され、代表者は3日間の感想などを述べました。その後、各グループのサポーターから1人ずつ修了証書が授与されました。参加者の達成感や自信に満ちた表情が印象的でした。



宮城県出身の個性豊かな講師3名をお迎えし、それぞれの経験や立場からリーダーになるためのヒントを教えてくださいました。様々な分野で活躍する3名の講師の講話の内容には、共感と発見が溢れていて、とても有意義な時間になりました。



いがらしみきお氏

漫画家 代表作：ぼのぼの

幼少期に漫画家を志し、何か始めなければならぬという思いから、中学生の時に自分が書いた漫画を東京にいる兄に送り、出版社へ持って行ってもらったというエピソードが印象的でした。「描きたい漫画を描く漫画家になる」ことを目標として理想を貫く姿勢、それができることの幸せについて教えてくださいました。



志村 雄彦氏

株式会社 仙台 89ERS 代表取締役社長

少年時代は空前のバスケットボールブームの中でバスケに夢中になり、学生時代に優勝を経験し、そこから学んだ「1番にならないと見られない景色」や「1番になることは、次も1番をめざすための力になる」という言葉は、とても説得力のあるもので、リーダーをめざす私たちに力強く響きました。



二階堂 玲子氏

マルニ食品株式会社 代表取締役社長

「人生は食と芸術、そして旅」と語ってくださった二階堂社長は、多忙ながらも楽器、陶芸、美術、旅行と、多彩な趣味を持ち、理想（なりたいもの＝ゴール）を叶えるためには、「考える」「調べる」「行動する」ことが大切であると、世界各地の素敵な写真を交えながら伝えてくださいました。

p4c「philosophy for children」について

研修の中では、アイスブレイクとして、コミュニティボールの作成や p4cを用いた自己紹介を行い、親睦を深めました。また、3日間の振り返りの際に、p4c を用いて互いの感想や意見を共有しているグループも見られました。

4つの ルール

- 「ボールを持った人だけが話せる」
- 「まだ話していない人にボールを渡す」
- 「話せないときはパスができる」
- 「相手を傷つけることは言わない」



コミュニティ ボール

- p4c は、毛糸で作ったコミュニティボールを使います。
- 一緒にボールを作ること打ち解けた雰囲気になります。
 - 作りながら自己紹介することでアイスブレイクになります。
 - 毛糸のボールを持つことで気持ちを和らげることができます。

対話

- ①みんなで話すテーマを決めます。ルールに則って、最初の人コミュニティボールを持ちながら、自分の気持ちや考えを話します。
- ②次に話したいという人にボールを渡し、受け取った人が話を始めます。

グループワークで見えてくる「なりたい自分」

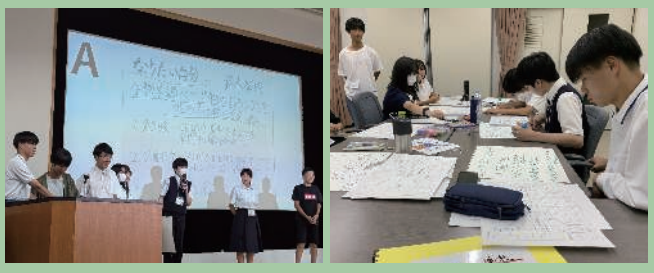
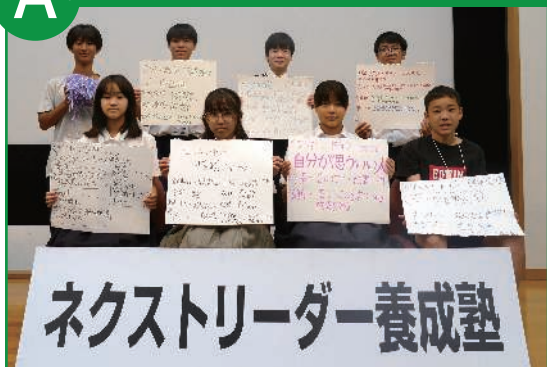
p4c を用いて、自分の「大切なもの(こと)」や「夢」について対話を行いました。他の参加者の考えを聞くことによって、視野が広がるとともに、自分の考えについて改めて考えるきっかけとなりました。

「性格」「好きなこと」「辛かったこと」という3つの視点から自分を分析し、マインドマップを作成しました。その後、完成したマインドマップをもとに、サポーターやグループの仲間と意見を交わしながら、自分の目標を達成するために必要なことを考え、オープンウィンドウにまとめました。

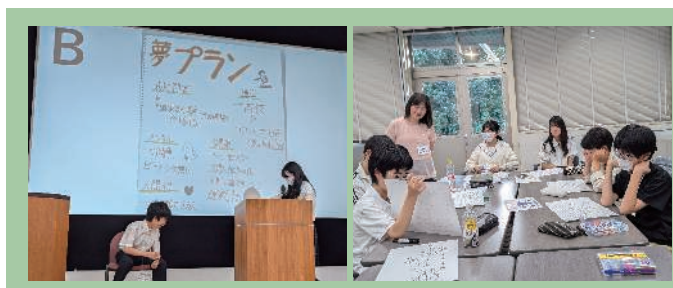
講話やグループワークを通じて具体化された「なりたい自分」に近づくために何をすべきかを参加者それぞれが発表用紙にまとめ、グループ内で発表を行いました。発表後には、感想や意見を伝え合い、新たな気づきを得ている様子も見られました。

みんなの「なりたい自分」

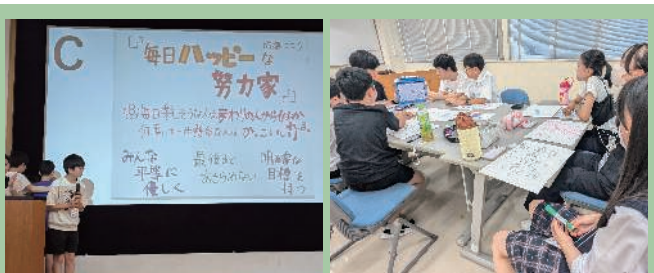
A グループ



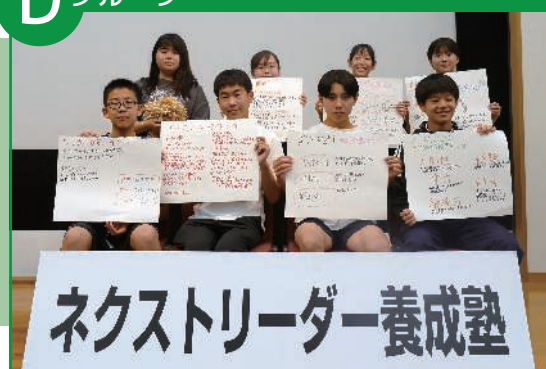
B グループ



C グループ



D グループ

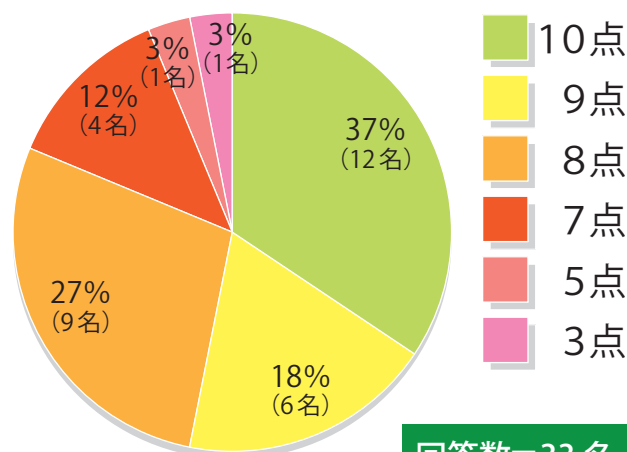


E グループ



研修全体の満足度

プログラムの満足度に関しては、1点～10点までの10段階評価で、平均8.5という結果となりました。参加者にとって、満足度が高く、充実した2泊3日になったことが伺えます。

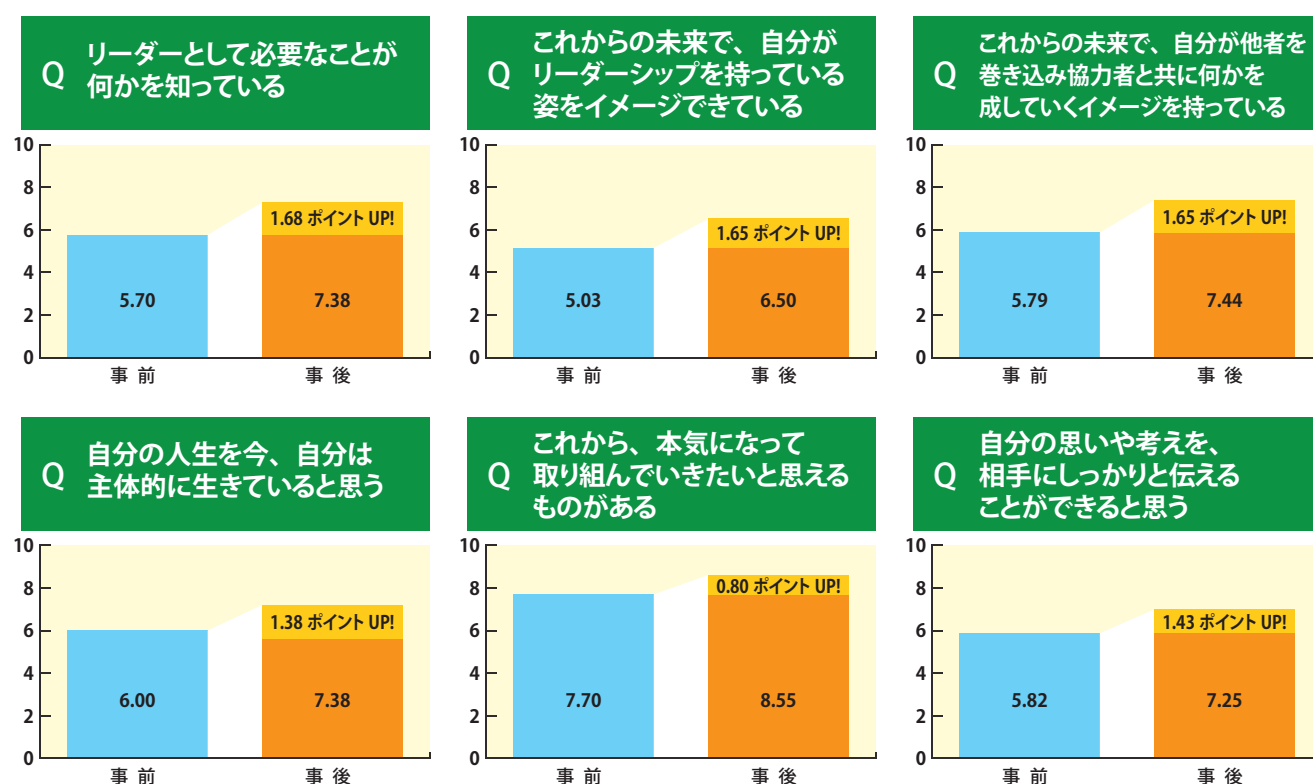


回答数=33名

参加者の意識の変化

参加者に事前・事後アンケートを実施し、意識の変化を調査しました。

下記グラフから、特にリーダーとして活躍していく自信がつき、リーダーとしてのより明確なイメージを持つことができたことが伺えます。



参加者の声

共に高みを目指して努力しているみんなといういろいろな活動を通じて仲を深め、お互いを知る事ができた。自分のなりたい大人像を考えると、グループ内で話し合いながらもそれぞれのなりたい自分を真剣に考えられたと思う。

緊張した気持ちで参加しましたが、みなさんにサポートしていただいたことで、安心して過ごすことができました。充実した時間を送ることができ、将来への目標を描くことの大切さを学びました。ありがとうございました。

自分と同じ県で活躍している方々の話を聞いて、こんな事が出来るんだ、すごいなあと思った。また参加した人との関わりの中で、自分の考えを伝える事や、相手の話を聞くことの大切さが分かった。学校や習い事以外の場所で友達を作ることができて良かった。また来年も参加したい。

講話は学びになる事がとても多く、気になったことを講師の人に質問したら丁寧に回答してくれて嬉しかった。初めましての人と話すことが楽しかった。将来の夢がなく、記憶力もそんなによくないからマインドマップやオープンウィンドウは少し大変な作業だと思った。将来について考えることがあまり好きではなかったのだが、この研修を通して、前よりも将来について考えることが楽しいと思えるようになった。



令和7年度も宮城県ネクストリーダー養成塾の開催を予定しております。是非ご参加ください。



問い合わせ先

宮城県環境生活部共同参画社会推進課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町 3-8-1

TEL : 022-211-2577 FAX : 022-211-2392

MAIL : seisyo9@pref.miyagi.lg.jp

発行：令和7年1月